

シリーズ

ごみ減量化へ向けて①

ごみの現状と今後の施策

ごみ排出量の状況は、市民の皆さんの排出抑制努力にも関わらず、ここ数年は家庭から出されるごみの排出量が止まらずに横ばいから微増の傾向が見えてきています。このままを講じなければ、日の出町にある二ツ塚最終処分場が早期に満杯になると予想されています。現在すでに40%の埋め立てが完了している最終処分場の延命化や環境に対する負荷軽減の観点から、循環型社会を目指し、より一層ごみ排出抑制・減量化・リサイクルを推進していく必要に迫られています。

3回シリーズの1回目として、今回は今後のごみ減量化に向けた対応についての考え方を紹介します。ご質問・ご意見は電話473・2117、ファクス477・6755または電子メールでごみ対策課へ。

これまでの取り組み

市では、収集したごみを柳泉園組合で破砕や焼却などの中間処理を行い、焼却灰と残渣(ざんさ)については日の出町にある二ツ塚最終処分場で埋め立て処分しています。

市では、これまで最終処分場の延命と地球環境保護のため、ごみの減量と再資源化に取り組む、11分別方式による収集を実施しています。

そのほかのごみ減量・再資源化への取り組みとしては、粗大ごみ有料収集の導入、資源ごみ集団回収報奨金制度を実施するなど内容を充実させてきました。18年度には容器包装リサイクル法の対象である「その他プラスチック」の分別回収の実施を10月から予定しています。

ごみ収集量等の推移

11分別方式を実施したことにより7年度、11年度の間、ごみ収集量は順調に減少していましたが、12年度以降は増

表1 ごみ収集量の推移

Table with 4 columns: 年度, 人口(10月1日現在), ごみ収集量, 一人1日排出量. Rows 7-17.

可燃・不燃・粗大・有害・資源物 注)17年度数値は見込み。人口は外国人登録を含む。

表2 ごみ収集処理経費の推移

Table with 4 columns: 年度, 収集処理経費, 市民一人当たりの処理経費, 世帯当たりの処理経費. Rows 7-16.

10月から容器包装プラスチックの分別収集スタート。日の出町二ツ塚処分場の延命化や自然環境に対する負荷軽減などの観点から、これまでのごみ減量化・資源化施策を再展開することで、より一層のごみ減量を推進していく必要があります。

Table with 5 columns: 相談名, 相談日時, 相談員, 予約開始日等, 会場. Rows for various consultation services.

加傾向にあり、12年度では11年度より61.9%の増加となりました。また、市民一人1日当たりの収集量も同様に12年度以降増加傾向にあり、上向く経済動向の影響で今後、高い水準で推移することが予想されます(表1参照)。

ごみ収集処理経費は、10年度、12年度は減少していましたが、13年度からは増加に転じています。資源物集団回収を実施している「資源物集団回

り資源ごみの回収量は年々増加してきていますが、燃やせるごみの中に雑紙類や燃やせないごみの中にビン・缶・ペットボトル等が含まれています。これらのものがすべてリサイ

クルの分別収集スタート。日の出町二ツ塚処分場の延命化や自然環境に対する負荷軽減などの観点から、これまでのごみ減量化・資源化施策を再展開することで、より一層のごみ減量を推進していく必要があります。

10月からは容器包装プラスチックの分別収集スタート。日の出町二ツ塚処分場の延命化や自然環境に対する負荷軽減などの観点から、これまでのごみ減量化・資源化施策を再展開することで、より一層のごみ減量を推進していく必要があります。

◆ごみ対策課メールアドレス gomitaisaku@city.higashikurume.lg.jp

資源ごみの回収量を11分別収集開始当時の7年度と16年度を比較すると、古紙布が981トから2992ト、ビン類が1090トから1219ト、缶類が526トから502ト、ペットボトルが37トから362ト、トレイが16トから22ト、総量で2887トから5243トへと2356ト増加しています(表3参照)。

また、皆さんのご協力により資源ごみの回収量は年々増加してきていますが、燃やせるごみの中に雑紙類や燃やせないごみの中にビン・缶・ペットボトル等が含まれています。これらのものがすべてリサイ

クルの分別収集スタート。日の出町二ツ塚処分場の延命化や自然環境に対する負荷軽減などの観点から、これまでのごみ減量化・資源化施策を再展開することで、より一層のごみ減量を推進していく必要があります。

10月からは容器包装プラスチックの分別収集スタート。日の出町二ツ塚処分場の延命化や自然環境に対する負荷軽減などの観点から、これまでのごみ減量化・資源化施策を再展開することで、より一層のごみ減量を推進していく必要があります。

15年度には20億円を突破しました。このままではさらに多くの税金を投入しなければなりません(表2参照)。循環型社会の構築を進めるため、一層のごみ排出抑制・減量化・リサイクルを推進していく必要があります。

資源ごみの総資源化量は、市民一人1日当たり226g。5年10月柳泉園組合のリサイクルセンター開設に伴い、これまでの可燃・不燃・粗大・有害ごみの4分別収集からビン・缶・古紙・古布を加えた8分別収集を開始しました。さらに6年5月にペットボトル・白色トレイ・紙パックを加えた現在の11分別収集方式を開始しています。

資源ごみの回収量を11分別収集開始当時の7年度と16年度を比較すると、古紙布が981トから2992ト、ビン類が1090トから1219ト、缶類が526トから502ト、ペットボトルが37トから362ト、トレイが16トから22ト、総量で2887トから5243トへと2356ト増加しています(表3参照)。

また、皆さんのご協力により資源ごみの回収量は年々増加してきていますが、燃やせるごみの中に雑紙類や燃やせないごみの中にビン・缶・ペットボトル等が含まれています。これらのものがすべてリサイ

表3 資源回収品目回収量(単位: トン)

Table with 7 columns: 年度, ビン類, 缶類, 古紙布, ペットボトル, トレイ, 総量. Rows 7-16.

表4 資源物集団回収量と資源化量の推移

Table with 5 columns: 年度, 資源物集団回収量, 紙類集団回収量, 資源化総量(行政回収含む), 市民一人1日当たり資源化量. Rows 7-16.

7月のお気軽に無料相談

Table with 4 columns: 相談名, 相談日時, 相談員, 会場. Rows for various consultation services.